

コミュニティ・スクールは、一人一人の子どもが幸せな人生を歩んでいけるよう社会総がかりで子どもを育む取り組みです。



禾生第二小CS通信



令和7年7月吉日
禾生第二小学校
校長 渡邊 昌子

禾生第二小学校は、学校運営協議会設置へ向けて「学校運営協議会設置推進委員会」を立ち上げました！

コミュニティ・スクール(CS)とは、学校・保護者・地域住民で構成する「学校運営協議会」を設置した学校のことで、「地域とともにある学校づくり」の実現に向け、学校目標や課題、地域資源を共有し合い、学校・地域が一体となって、子どもたちの学びや成長を支えていく仕組みです。

「子どもの心身の安全」「地域防災」「地域コミュニティの再生」…。これら、学校だけ、地域だけでは、解決が困難であり、抱えすぎている課題を、学校と地域、相互の連携・協働のもとに、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を一体的に進めていく—。

CSは、子どもたちと地域の未来を育む”協働”、“共創”的に有効な手段です。

令和7年度 禾生第二小学校 学校運営協議会設置推進委員会 委員紹介(敬称略)

★会長 杉本 旦 ★副会長 吉澤 政次

(五十音順) 井上敏子 井上正士 梶原成美 前田亜希子 小林一仁 櫻場淳夫
振屋杏奈 佐藤洋 島崎透 都倉鍊三 長谷川晃 佐藤保成 渡邊昌子

地域が支える、子どもたちの育み



令和7年度第2回設置推進委員会、開催予定

日程：令和7年10月25日（土） 場所：禾生第二小学校

第1回設置推進委員会の様子は裏面へ

6/13(金) 第1回学校運営協議会設置推進委員会 開催

6月13日18:00より、委員10名、教職員4名が集まり、学校運営協議会設置推進委員会が開催されました。教育委員会による新委員の委嘱状交付に始まり、山梨大学日永教授によるミニCS講義、校長より今年度の学校経営方針の説明等がなされ、熟議では、盛んに情報共有やアイディア出しがなされました！

CSミニ講義「学校運営協議会と委員の役割」のおはなし

- 【共有】学校（教職員）、保護者の皆さん、地域の皆さん、その3者で目標を共有。目標達成へ向け、地域資源を共有、それぞれの立場から見た子どもたちの様子を共有するなど。
- 【参画】一緒になってやるよ、だけでなく、計画から活動、振り返り、更なる計画立て等、そのすべての過程に関わりを持つこと。
- 【協働】協議会が計画の主体、実施の主体。3者の協働に加え、それぞれの立場で自律的な活動も。また、日頃子どもたちや地域と関わり、目標の実現に向けてできることを考えていく。
- 【巻き込む】交流をきっかけに、「みんな」が地域づくりに参画できるきっかけを作っていく。
- 【相互理解】昔とは随分、社会も学校も変わってきた。それを理解していく。

熟議①「いろんな立場から見た、子どもたちの様子」<共有>

- | | | |
|-------------------------|-----------------------------|----------------|
| ・あいさつが明るい、よくできる | ・もくもくと真面目に取り組む | ・恥ずかしがり屋多い |
| ・大人や子供たちに気さくに話しかけてくれる | ・習い事で忙しい | ・スマホ、ゲームの時間が長い |
| ・保育園の前を通る際、誇らしげ！（互いに刺激） | ・自分の気持ちを言葉で表現するのが苦手な子が少なくない | |
| ・声掛けをすると積極的に手伝う | ・虫に強い | ・小さい子の世話をする |
| | | ・ICT機器を活用できている |

熟議②「子どもたちに還元したい地域の魅力・資源」<アイディア出し>

- ・尾県郷土資料館
- ・道の駅
- ・リニアセンター
- ・富士急行線
- ・豊かな自然、生き物
- ・神楽
- ・昔ながらのお店や建造物（寺田商店等）
- ・小山田氏のお墓
- ・耳飾りの土偶
- ・方言
- ・養蜂場
- ・どんど焼き
- ・魚釣り
- ・お年寄りが元気
- ・お年寄りの知恵
- ・ホタル
- ・清掃活動
- ・日本初のメジャーリーガー村上さん
- ・大人の地域や子どもへの熱い思い
- ・などなど

振り返り

教員

- ・地域の方たちも子どもたちのために何かしたいという気持ちを強くもってくださっていることが嬉しかった。
- ・卒業生の皆さんとお話をしても、今毎日一緒に過ごしている子どもたちの未来の姿を想像することができました。長くこれからもこの地域で過ごす子どもたちを今まで以上に大切にしながら教育活動をしていこうと思いました。

地域

- ・パワーのある高齢者の方々が多い印象があった。自分含めた若い世代で、それを継承できるような取り組みも必要と感じた。これまであまり子供達や地域の方と関わる機会を持ってこなかったが、この機会に関わっていきたいと思うようになった。
- ・昔から住んでいる方も、他県出身の方もいて、どちらの視点も新鮮なものがいっぱい出て、自分の知らないことや知見を広めることができる、本当にいい会だったなと思いました。

子どもたちや地域の未来を思う全ての、組織・団体・個人、家庭、学校・・・
地域総がかりで、禾ニッ子たちを育んでいきましょう！

